

デートDV危険度チェック

彼(彼女)が好きなんだけれど…

- なんだか怖いときがある
- 「ブス」とか「ばか」とか傷つくことを言われる
- 友だちと会うと不機嫌になる
- 優しいなと思ったら急に意地悪をする
- 別れたら自殺するという
- おまえのせいで気分が悪くなったといわれる
- Hする時にコンドームをつけてくれない
- 自分の意見をいつも否定されるので話し合いができない

彼女(彼)が好きだから…

- どこで、何をしているのか知らないと気がすまない
- 自分の好み(服や髪型)を押しつける
- 腹がたつと相手に向かって物を投げる
- 自分のことを一番大切にしないと腹が立つ
- 自分の意見に従わないとイライラして大声を出す
- 携帯電話の履歴やアドレスをチェックするのはあたり前だ
- 愛しているならいつでもHに応じるべきだ
- つき合っていれば少しぐらいの暴力はしかたがない

チェックが一つでもあれば二人の関係をみなおしてみたらどうでしょう。
できれば彼(彼女)といっしょにチェックしてみませんか？

相談窓口

デートDVの被害にあった時、また悩んでいる時は相談しましょう。
暴力をふるう相手をあなたが変えることは困難です。具体的な解決方法をアドバイスしてくれるし、匿名でも相談できるし、秘密はちゃんと守ってもらえるから、安心して相談してみてくださいね。

民間の相談窓口

NPO 法人えばの会 女性と子どもの性と人権を考える市民ネット

Tel097-532-1080 毎週土日 10:00~15:00

公的な相談窓口

配偶者暴力相談支援センター (県婦人相談所)

Tel097-544-3900 平日9:00~21:00
土日祝13:00~21:00

配偶者暴力相談支援センター (県消費生活・男女共同参画プラザ「アイネス」)

Tel097-534-8874 平日9:00~16:30 土日祝をのぞく

大分県警察「警察安全相談」

Tel097-534-9110 Tel097-537-4107

平日9:30~18:00
土・日・祝日は留守番電話で対応



NPO法人 **えばの会**

〒870-0021 大分中央郵便局 私書箱122号

tel. 090-1516-9565

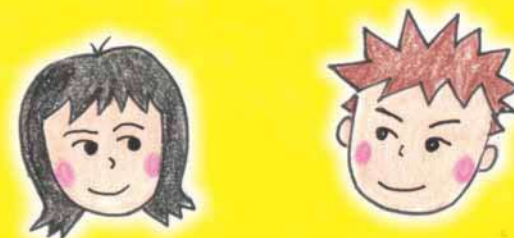
e-mail: ebanokai@yahoo.co.jp

http://www.geocities.jp/ebanokai/

(H21年度 大分県委託事業 NPO法 人えばの会作成)



デートDVって なんだらう!?



自分の思いどおりにならないと起こったりたいたり…

メールを勝手に見てチェックしたり…

しょっちゅう電話して何をしているか確認したり…

他の人と話をするだけでイヤな顔をしたり…

イヤなことをNOって言えないし…



NPO法人 **えばの会**

女性と子どもの性と人権を考える市民ネット

1. デートDVって何なん?

DV(ドメスティック・バイオレンス)は夫婦など親密な関係にある人からの暴力です。とくに交際相手からの暴力を「デートDV」といいます。

①具体的に暴力ってどんなこと?

デートDVはつき合っているお互いが対等の関係ではなく一方が力で相手を自分の思うようにする(支配する)ことです。からだへの暴力だけが暴力ではないんですよ。

- 身体的な暴力
 - ・殴ったりけったりする
 - ・ものを投げつける
 - ・髪の毛をひっぱる
 - ・つきとばす
- 言葉での暴力・精神的な暴力
 - ・バカにした言葉を使う
 - ・無視する
 - ・大事なものをこわす
 - ・なんでも一人で勝手にきめる

- 性的な暴力
 - ・無理やりキスやセックスをする
 - ・コンドームを使わない
- 経済的な暴力
 - ・お金をねだる
 - ・借りたお金を返さない

- 社会的な暴力
 - ・勝手にメールをチェックする
 - ・いっぱいメールしてきてすぐに返事をしないと怒る
 - ・自分以外のメールアドレスはいらないうって消す
 - ・友だちにあわせない



② どうして起きるの？

起きる背景には「力の差」「女らしさ男らしさの思い込み」「暴力容認の考え」この3つがあります。



2. それって自分にも関係あるん？

デートDVの被害経験

・20代
女性 21.3% (5人に1人) 男性 9.4%

内閣府 2009.4 発表

・高校生カップル
女性 18% 男性 12%

NP0 法人DV防止ながさき 2006~2008 調査

こんなにあるということは、他人ごとではなく、いつか自分の身に起こることだってあるし、知らないだけで自分の周りに起こっているかもしれないのです。

配偶者(夫婦)のDV被害

・DVを受けた
女性 33.2% (3人に1人) 男性 17.7%

・何度もあった
女性 10.8% (10人に1人) 男性 2.6%

内閣府 2009.4 発表

将来結婚するとしたら…
夫婦であれば経済的な差も出てきやすいので、さらに起こる可能性は増えてきます。
夫婦間のDVは子どものいる家庭では子どももつらい立場に立たされます。(DVを見せることは児童虐待)



3. じゃあ どうしたらいいん？

自分も大事 相手も大事



暴力のない関係

相手のいやなことを無理やりさせたり、
したいことを禁止したり
することも暴力だよ。

対等な関係を築いていこう

- ・自分の気持ちや考えを言葉で伝えましょう。
- ・相手のいやがることはやめましょう。
- ・「男のくせに」「女らしく」という思い込みを相手に押しつけないようにしましょう。
- ・「女性は育児をする」「男性は外で働く」という考え(性別役割分担意識)を変えていきましょう。

自分らしさを大切に

4. もしかしたら 自分…!?

暴力が続くと不安になったりするよね。食欲がなくなったり、頭やお腹が痛くなったり、具合が悪くなることもあるんですよ。

- もしかしたら被害を受けているかも…
あなたは悪くありません。暴力をふるう人が悪いんです。がまんしても暴力はなくなりません。ましてや暴力をふるう恋人を「私がなんとか変えてみせる」と考えることは非常に危険です。一人で何とかしようとしなくて周りの人や相談機関に協力を求めることが必要です。



- もしかしたらデートDVをしているかも…

- ・暴力はだめ、絶対だめ。
- ・彼女(彼)はあなたのものじゃない。
- ・相手気持ちも大事にすることが大切だよ。



- 友だちに相談されたら…

どんな理由があれ、暴力を受けていいということはありません。「あなたが悪いんじゃない。暴力をふるう人が悪い。」と伝えることが大切です。話をゆっくり聴くこと否定しないことも大切です。そして信頼できる大人や学校の保健室の先生やカウンセラーへの相談をすすめてみましょう。身近な相談機関を教えることも役立ちます。(民間や公)

